

## 新文化会館のあり方と

# 新文化会館を整備するまでの3ホールのあり方

飯田市・飯田市教育委員会

### 3 ホールのあり方の検討経過

- ・平成 27 年度に「飯田市公共施設マネジメント基本方針」に基づく「ホール施設のマネジメント方針(案)」を作成し、平成 28 年度には目的別検討会議（文化会館利用団体役員）、地域別検討会議（鼎地区役員）を開催し、それぞれでご検討いただきました。

3つのホールの中心施設である飯田文化会館は、耐用年数を考慮し建て替えることとし、そのうえで、飯田市公民館及び鼎公民館のホール機能を、両方あるいはどちらか一方を廃止する。

- ・新しい文化会館が整備されるまでは、現在の3つのホールの利用実態等踏まえ飯田市公民館及び鼎公民館のホールは存続させる。
- ・早急な対応を迫られている飯田市公民館及び鼎公民館のホールの耐震改修、照明・音響施設の改修は、全面改修ではなく必要な機能を検討し、安全に維持するための必要最小限度の延命措置的な改修とする。

- ・検討を進める中、南信州広域連合が予定している新施設の検討状況やリニア関連事業を踏まえた長期財政見通しとの関係から、3ホール施設の具体的な協議については一時中断せざるを得ない状況となりました。

- ・令和元年度に入り、広域連合の新施設がアリーナ機能に絞られたこと、リニア駅周辺整備計画基本設計が12月に終了し、リニア関連事業の総額が明らかになったことから、次により検討を再開することにしました。

3ホール施設の「今後の方向性」について（令和2年～）

- (1) リニア関連事業などの財政投資を踏まえると、新たな文化会館の整備は、リニア開通後になる。
- (2) それまでの間の各施設のホール機能のあり方については、これまでの地域別検討委員会、分野別検討委員会ではなく、関係者が全市的な視点から検討できる検討委員会を設置して、意見交換及び方針の検討を行う。

文化力を高め心豊かな市民生活の実現のために  
**市民の文化芸術活動拠点としての新文化会館のあり方(案)**

域内の施設と連携を図りながら

**新文化会館の整備方針**

文化芸術の力で心豊かな市民生活を実現するために、市民自らが主体的に展開する活動を支援する中核的な劇場型ホールとしての「新文化会館」を、リニア中央新幹線の開通後に中心市街地へ整備します。

**基本的考え方**

- ①市民が優れた文化芸術に触れるとともに、市民による創造・発表活動を支援できる中核施設
- ②子供から高齢者まで市民全体が気軽に利用しやすく集まりやすい施設
- ③歴史や文化のある「丘の上」と連携したにぎわい創出と都市の魅力を高める施設
- ④市内外の文化団体や市民が出会い、市民参加型の交流が深められる施設
- ⑤周辺地域の類似施設との差別化と連携が図れる施設
- ⑥文化芸術に関する情報を収集し、広く市民や関係者への情報提供する施設



**エス・バード**

産業振興と人材育成の拠点で500人規模のコンベンションホール。

**なぜ中心市街地か**

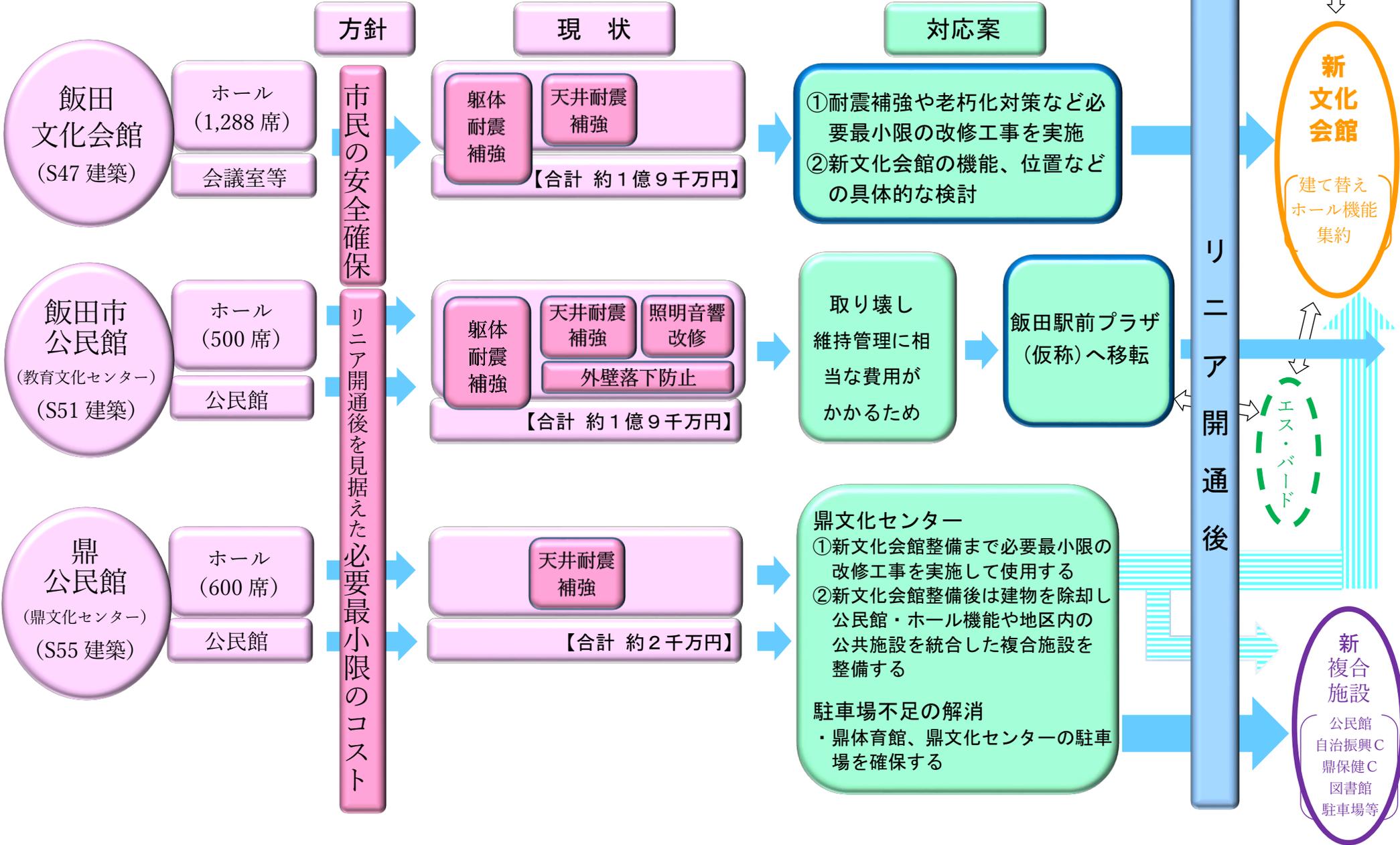
- ・中心市街地には、会議場、宿泊施設、飲食店、公共機関等の既存ストックによる「まちなかMICE」の形成が期待でき、城下町が育んだ歴史と文化や人形劇フェスタ、丘フェスなど市民の文化芸術活動が発信されるステージがあります。
- ・また、JR、バスなどの公共交通で誰もが集まりやすい交通結節点である事も大切です。
- ・街で賑わいを楽しみ、ときめき、イベント後にその余韻の中で交流を深めるには「文化芸術活動の殿堂」である新文化会館が中心市街地にあることが最適です。

**他の類似施設との連携の在り方**

新文化会館は文化芸術活動拠点として整備し、コンベンション・展示会などができる施設として「エス・バード」、大規模なスポーツ大会やイベントなどの利用が想定されている「広域連合アリーナ」と連携を図っていきます。

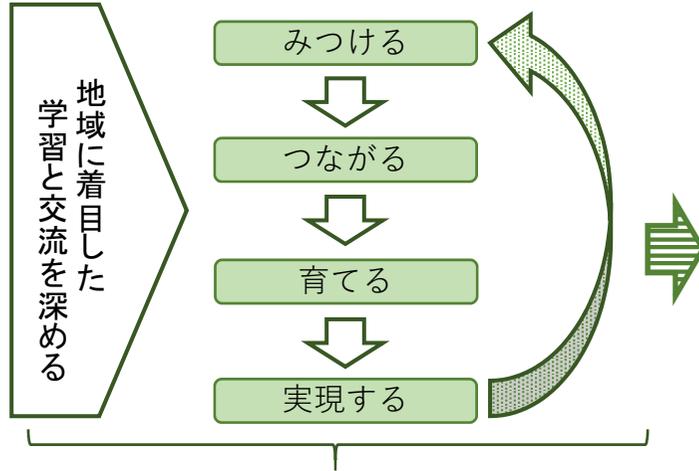
# 3 ホールの今後の整備の進め方

広域連合  
アリーナ



# 飯田市公民館の機能及び整備に関する考え方

## 飯田市の公民館(21館の基本姿勢)



公民館は地育力を向上させる実践的な場として機能

## 飯田市公民館の主な役割・機能

- **全市的な学習や交流事業**
  - ・市民大学講座や人権平和・多文化共生、子育て支援、高校生講座等の学級・講座の開設・運営・全市的な課題に対する学習、モデル・パイロット事業の実施
  - ・地区館との合同によるいいだCS協働活動や飯田市公民館大会等の取組
  - ・活動の成果発表
- **地区公民館との連絡調整、情報集約・情報発信**
  - ・公民館全体の意思決定、施設の使用及び維持管理、市内外の情報集約・情報発信、全体庶務

### 【施設利用状況】

飯田市公民館大会、人形劇フェスタ、成人式、コーラス、太鼓、吹奏楽、ダンス、日本舞踊等各種学習・講座の他、有料でイベント会場として借用

## 地域づくり・人づくりにおける今日的課題

- 幼保、小中学校で培われてきたふるさと意識の醸成が高校生、青年層になって希薄になる傾向があります。
- 社会環境の変化から青壮年層の社会参加が減少しつつあり、次代の地域づくりの担い手不足が懸念されています。
- 外国人の就業や定着、来訪などグローバル化が見込まれるなかで、世界的な視野に立った価値観の醸成や相互理解が必要となってきています。
- 親子、高校生、青年層の共創の場や自己実現の機会となる開放的な自由なたまり場が必要となってきています。
- リニア中央新幹線の開業等により地域が大きく変化することが予想されるなかで、地域を形作ってきた文化や産業等の学びが高齢化しており、地域アイデンティティが喪失していく可能性があります。

## 課題に対し飯田市公民館が充実させていく取組

- ◆ **高校生や青年層の** 地域に関わる学習・交流活動
- ◆ **青壮年層の** 社会参画意識を促す学習・交流活動
- ◆ **外国人への** 理解や社会参画を促す学習・交流活動
- ◆ **親子同士の** 学習・交流、情報交換、相談活動
- ◆ **多世代をつなぐ** 学習・交流活動
- ◆ **多様な主体との連携による** 学習・交流の深化

求められる機能

・居場所として気軽に集える使い勝手の良い空間

・交流と学びにより新たな価値が生まれる空間

・様々な情報が入手しやすく、情報発信が気軽に行える空間（ネット環境の整備）

・公共交通との結節性が良い施設

# 飯田市公民館の(仮称)飯田駅前プラザ(旧ピアゴ)への移転について

## 1 移転に伴う施設機能の向上

### (1) 立地条件の向上

- ・(仮称)飯田駅前プラザ(旧ピアゴ)は、地域公共交通の拠点であるため、自家用車を持たない**高校生**をはじめとした**児童・生徒・学生、高齢者、外国籍市民**や地区外の人々など、多くの人が集まりやすくなります。

### (2) 次代を担う人材の活動拠点の整備

- ・次代を担う若者の活動の場として、シェアスペース、相談対応スペースなどを配置し、ネット環境を整備します。地域内外の人々の力や知見、アイデアが結ばれ、新しい価値の創造にチャレンジできるような空間を整備します。

### (3) 複合ビルによる相乗効果(シナジー)への期待

- ・他のフロアーでは商業活動、企業活動が行われています。複合ビルを利用するさまざまな人々の交流から学びが生まれ、創発の場につながる可能性が高まります。



## 2 施設機能の整備について (詳細は今後検討)

### (1) 多目的ホール(多目的空間)

- ・フロアー内に多目的ホール(多目的空間)を整備し、人形劇やミニコンサート、講演会を行います。
- ・大規模な集会などは、飯田文化会館、県文化センター、エス・バード、地区公民館を代替え施設として活用します。

### (2) 会議室

- ・社会教育活動の拠点として子どもから大人まで、気軽に集い交流学習できる会議室等を整備します。(今まで通りの利用ができます。)



# 各検討会での検討スケジュール

飯田  
文化会館  
(S47 建築)

ホール施設検討会

リニア新幹線開通後に  
整備する新文化会館の  
あり方と新文化会館を  
整備するまでの3ホー  
ルの望ましいあり方を  
全市的な視点から検討

飯田市  
公民館  
(教育文化センター)  
(S51 建築)

飯田駅前プラザ  
検討会 (仮称)

活動内容の検討  
移転先の配置など

市公民館

移転

県  
公民館  
(県文化センター)  
(S55 建築)

県地区公共施設等検討会議 (仮称)

立地、規模、複合対象施設などを検討

リ  
ニ  
ア  
新  
幹  
線  
開  
通

新文化会館

改築

新複合施設

改築

広域連合

アリーナ